

社会資本総合整備計画 事後評価書														
計画の名称	芸術・文化・教育の拠点を整備し、交流機能を向上させるまちづくり													
計画の期間	平成31年度 ～ 平成35年度 (5年間)											重点配分対象の該当	○	
交付対象	金沢市都市再生協議会													
計画の目標	芸術・文化・教育の発信拠点を整備し、地区の交流機能を向上させるとともに、質の高い居住環境を構築する													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		927	A	927	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29	H33	H35
1	周辺居住誘導区域内の人口 平均△30人／年（H27～H29）から平均0人／年（H33～H35年） 整備地区周辺居住誘導区域内の住民基本台帳人口を測定する。	-30人／年	-10人／年	0人／年
2	金沢美術工芸大学の一般利用者数 3,000人／年（H29）から23,000人／年（H35） 金沢美術工芸大学を利用する市民数を測定する。	3000人／年	13000人／年	23000人／年
3	県立図書館移転・新築に伴う一般利用者数 245,000人／年（H29）から600,000人／年（H35） 県立図書館の利用者数を測定する。	245000人／年	人／年	600000人／年

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	金沢市都市再生協議会	直接	金沢市都市再生協議会	－	－	金沢城東地区都市再生整備計画	美大整備・用水修景・道路等 12.8ha	金沢市	■					927		策定済	
											小計						927			
											合計						927			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
金沢市社会資本総合整備計画等評価委員会において評価を実施	令和7年3月1日
	公表の方法
	金沢市ホームページで公開

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・周辺居住誘導区域内の人口について、県立図書館及び金沢美術工芸大学の移転により文教地区としての都市機能が向上するとともに、また、地域の資源を生かした緑地空間や親水空間の整備により快適な住環境が創出されたことや、交通利便性が向上したことで区域全体の魅力が向上した。 ・金沢美術工芸大学の一般利用者数について、市民や一般の方に向けたイベントを随時開催しているほか、移転に伴い、一般利用者が訪れやすい施設の整備やバス停が整備され一般利用者数の増加に繋がっている。 ・石川県立図書館の利用者数について、本を貸し借りするだけの場ではなく、訪れたり長居したくなる読書スペース、イベントや生涯学習の場としての機能をもつことで、幅広い方々に利用された。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	・石川県立図書館の開館に伴い、金沢駅発「金沢大学附属病院」行きの路線バスが「石川県立図書館」まで延伸された。これにより学生や図書館利用者はもとより、周辺住民においても公共交通の利便性が向上した。 ・石川県立図書館は建物やデザインが2022年度グッドデザイン賞やiFデザインアワード2024などの多数の賞を受賞するなど話題性が高く、観光地としても人気で入館者が多く訪れている。

○特記事項（今後の方針等）

- ・金沢美術工芸大学および県立図書館を利用しやすい環境を整えるとともに、継続的にイベントなどを実施し交流人口の増加に努める。また、施設の適切な維持管理に努める。
- ・バスやレンタサイクルなど公共交通の利用を積極的に促すことで、駐車場付近の混雑解消につなげる。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	周辺居住誘導区域内の人口		
	最 終 目標値	0人／年	芸術・文化・教育の発信拠点として施設整備がすすめられたほか、狭あい道路の解消や修景に関して、自然や歴史的建造物など地域の資源を生かした緑地空間や親水空間の整備により、安全で快適な住環境が創出されたことで目標値の達成に繋がった。
	最 終 実績値	12人／年	
2	金沢美術工芸大学の一般利用者数		
	最 終 目標値	23000人／年	目標値には達しなかったが、キャンパス移転事業の一環として半年間開催された「金沢美術工芸大学所蔵名品展」では、半年で3,769人の来館者があったことから、一定の効果はあったと考える。
	最 終 実績値	20900人／年	
3	石川県立図書館の利用者数		
	最 終 目標値	600000人／年	令和4年7月に開館した県立図書館は、デザイン性に富み「会話のできる図書館」として観光施設としても話題になったほか、年間を通じてイベントが多数開催されたことで予想以上の来訪者があった。
	最 終 実績値	1026046人／年	